



# 湘南える新聞に弊社代表が紹介されました！

弊社代表の鈴木 亮一、実は リフォーム業だけでなく 地元 藤沢でいろいろな事をやらせていただいております。そんな鈴木さんの活動の一部が、湘南える誌で記事になりました。本号では改めて鈴木さんの経歴をご紹介します。

## (株)motex代表 鈴木亮一 プロフィール

1974年9月生まれ 藤沢市出身 O型 おとめ座 3児の父

### <職歴>

高校卒業後 横浜市栄区の工務店で大工として修業を積む  
その後、藤沢市の建築会社にて一般住宅、店舗、集合住宅のリフォームにたずさわり、建築の奥深さ、楽しさを体感  
独立後はB to Bにも注力している

- 2014年 独立
- 2015年 リフォーム屋本舗（綾瀬市）をオープン
- 2017年 株式会社motex 設立  
チューズ江ノ島（藤沢市片瀬海岸）をオープン
- 2019年 リフォーム屋本舗2Fに空間提案型ショールームをオープン

### <業界活動歴>

TOTO リモデルクラブかながわ店会 幹事  
ノーリツ 神奈川ハウレッシュ会 役員

### <地域活動歴>

藤沢市自治会 会長  
藤沢市避難施設運営委員会 会長  
藤沢湘南ライオンズクラブ 会長



2014



2015



2017



2019

湘南える 3/28号掲載



## 非常用簡易トイレを藤沢市に寄贈 避難訓練などで啓発活動に使って！

藤沢湘南ライオンズクラブ 会長  
鈴木 亮一さん



**Profile** 1974年藤沢生まれの藤沢育ち。18歳から大工として建築業に携わる。6年前からリフォーム業を専門とし、2016年株式会社motex（モテックス）設立。代表取締役就任。「期待以上」をモットーに、リフォーム業のやりがいを実感

「藤沢湘南ライオンズクラブ」では、非常用簡易トイレを藤沢市に寄贈。3月9日に贈呈式が行われ、同クラブ第46代会長の鈴木亮一さんから鈴木恒夫市長に81箱（一箱100回分）が寄贈された。市内の小・中学校や高校、大学の体育館など81カ所の避難施設に一箱ずつ設置予定。中身は蓄便袋100枚と凝固剤100袋。普通のトイレに袋をかぶせて用を足し、凝固剤で固めます。使用後、玄関などに置けば、市が回収してくれるそう。ご自身はリフォーム専門「(株)motex」社長として、「住まいのお困り事をお伺いして、いかにお客さまの期待以上の仕事ができるか。リフォームの仕事の奥深さや面白さを日々感じています」。車いす利用者江の島見学会など、さまざまなアクティビティを行なっている同クラブ。「私が大庭中学校周辺に住んでいる避難施設運営委員会の

会長をしていただくことがあり、非常時に大切なトイレが各施設に設置されていないと聞いて、今回の寄贈を提案した」とか。「施設にしまい込んでおくのではなく、避難訓練の時にみんなで確認してほしい」と鈴木さん。「各施設に一箱では足りるわけはなく、むしろ『これなら自宅にも置けるから備えよう』と、思ってもらえよう」と話します。（川戸真澄）



鈴木恒夫市長（右）に、非常用簡易トイレを寄贈する鈴木亮一会長

株式会社 motex (モテックス) リフォーム屋本舗

more than expected 期待以上のリフォームを...

綾瀬市深谷中9-16-47

電話 0120-704-814

メール design@motex-group.com